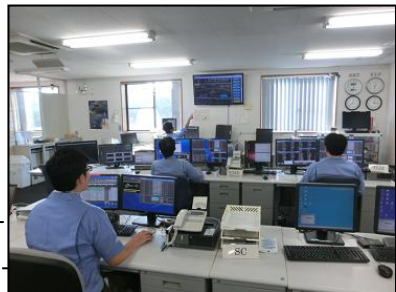
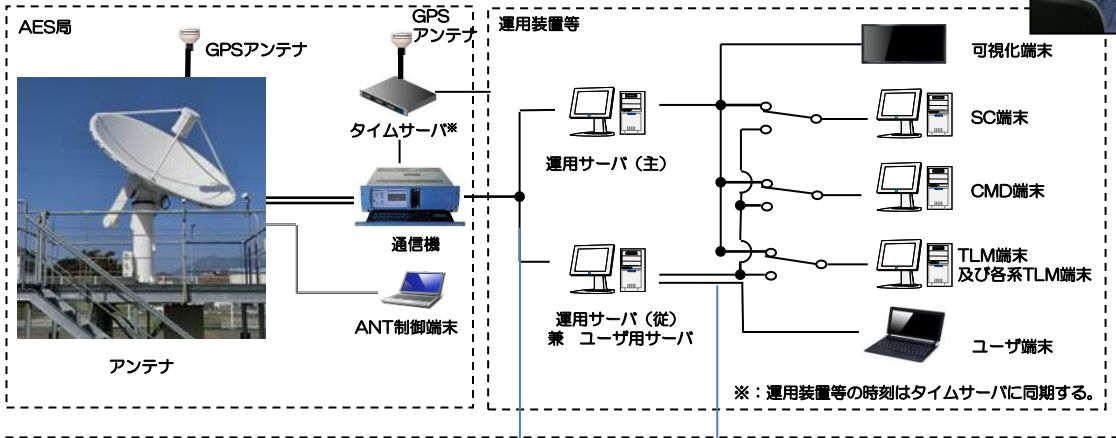


小型衛星地上局に関するサービス

- (1) 全般コンサルテーション
- (2) 設計・製造・試験
- (3) 運用支援 (AES衛星地上局を用いての運用を含む)



運用システム一例



運用イメージ

軌道上の衛星と、テレコマ通信を行うことができます。
 テレメトリデータを Downlink することで衛星の状態をチェックし、コマンドデータを Uplink することで衛星に指令を出します。
 (注1)

極軌道衛星は、KSAT社の Svalbard局 を使用し追尾回数を増やすことができます。



復調したテレメトリデータを、インターネット回線を介してユーザ端末に配信できます。

小型衛星地上局の構成 (AES小型衛星地上局の例)

AES小型衛星地上局アンテナ・通信機の主要諸元

- アンテナ
 - 口径：3 m
 - 光学系方式：Prime Focus Feed
 - 周波数帯：Sバンド(2 GHz帯)
 - 受信G/T：14 dB/K @ 90°
 - EIRP：47 dBW
 - Tracking I/F：TLE (低軌道衛星の追尾が可能)
- 地上局通信機 (Cortex CRT-Q)
 - IF 周波数帯：70 MHz帯
 - 変調方式：TC…PCM-PSK/PM, BPSK, QPSK, OQPSK, SOQPSK, GMSK, FM
 - TLM…PCM/PM, BPSK, QPSK, OQSK, SOQPSK, AQSK, GMSK, AM, FM,
 - 宇宙通信プロトコル：CCSDS



(注1) Uplinkを行うには、無線免許手続きが必要です。

